

きずな

小牧市民病院の理念

- 1 安全で質の高い急性期医療を行います
- 2 恕の心で患者さんに寄り添う病院を目指します
- 3 医療を通じて、安心して暮らせる地域の実現に貢献します

発行者／小牧市常普請一丁目20番地 小牧市民病院 院長 谷口健次 TEL(0568)76-4131
<http://www.komakihp.gr.jp/>



キミと一緒に、育っていきなさい。
Komaki

- 特集 ● 新立体駐車場（第1立体駐車場）が完成
- 健康教室 ● フットケア（足のケア）について
- 各科だより ● 薬局
- 職場紹介 ● 管財課
- 意見箱から ● トイレのハンドソープについて
- お知らせ ● 市民病院案内図 外来案内など

新立体駐車場 (第1立体駐車場)が完成

管財課 課長 大野 竜二

特 集

第1立体駐車場は、2階建てで屋上も含めると3層となり、合計駐車台数378台となっています。また2階には、診療棟に近い箇所に、「思いやり駐車場」16台分を設けています。自動車で来院される方の利便性が大きく向上しましたのでぜひご利用ください。

この第1立体駐車場を含め、外来者用駐車場台数の総数は、従来の約540台から約630台に増えました。自動車でお越しの際はぜひご利用ください。

① 2階から渡り廊下で診療棟2階へつながっています。

総合案内へ直接移動することができるようになりました。



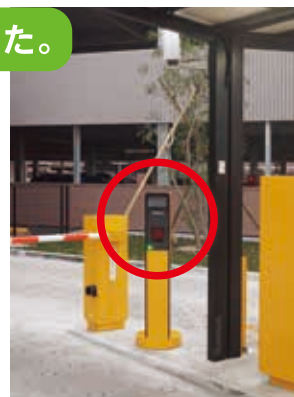
② 1階に約170台分の駐輪場を設けました。

これまでの健診センター棟周辺の駐輪場より診療棟に近い上に、風雨の心配もなくなりました。



③ 出口ゲートの渋滞緩和のため、車番認識システムを導入しました。

入庫の際にナンバープレートを撮影し、その情報を駐車券に記録する新しいシステムです。駐車場内に設置されている専用の事前精算機で事前に料金精算をすることにより、出口のゲートバーが自動で開くようになります。駐車料金の精算は事前精算機をぜひご利用ください。



④ 第1立体駐車場完成に伴い周辺道路の混雑が緩和しました。

駐車場入口を以前より敷地の中に設置したため、病院東側の道路から病院の敷地にノンストップで入っていただくことができるようになりました。

令和3年10月に上切公園の整備工事が完了しました

以前の上切公園より広くなった敷地内には、東側にはブランコ、滑り台などの遊具が配置され、西側には芝生が敷き詰められるとともに、ソメイヨシノ、イロハモミジ、サツキツツジなどがバランス良く植樹され、四季折々の景観を楽しむことができるよう、配慮されております。



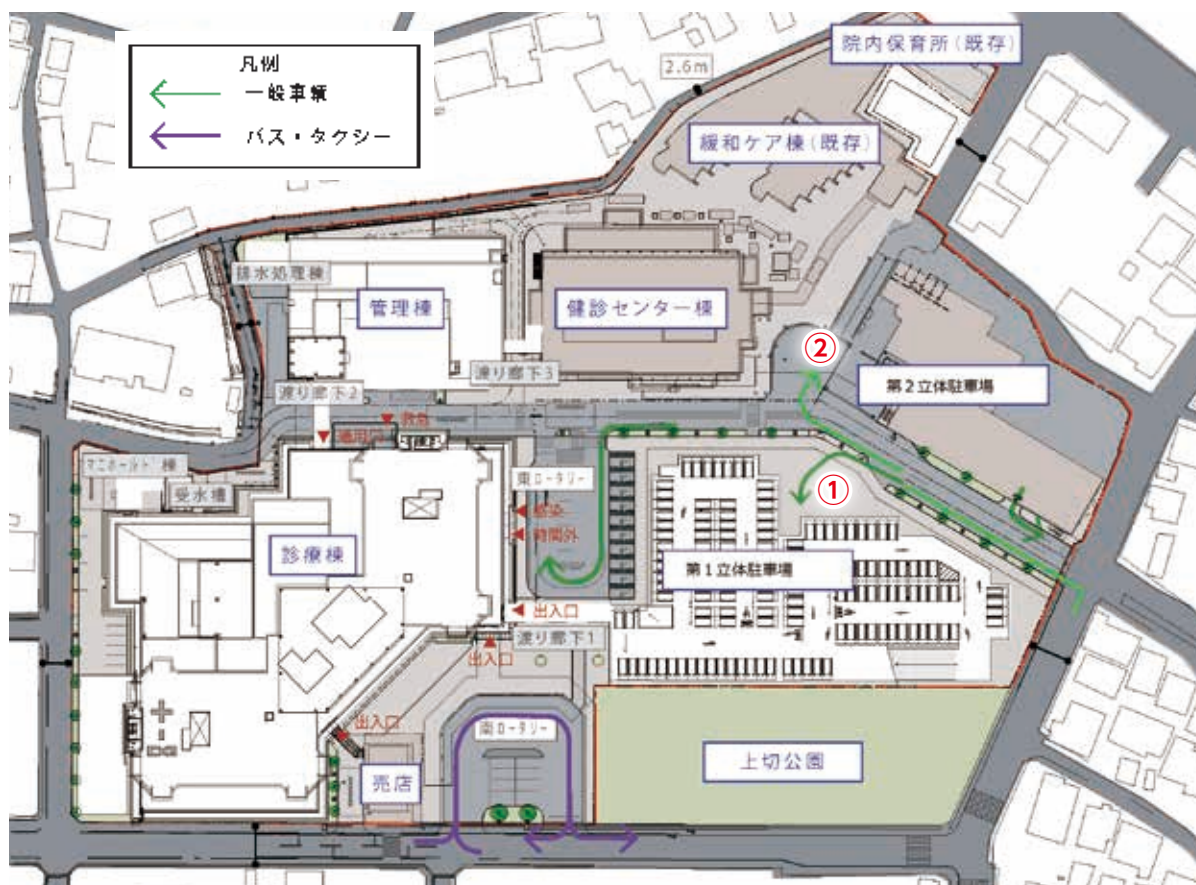
病院駐車場全体の再編を順次進めています

新立体駐車場の供用開始後は、病院敷地周辺に点在している駐車場全体の再編のための整備工事を進めています。

整備工事は、「全ての外来者用駐車場の有料化」です。新立体駐車場利用開始を機に、病院敷地内で外来者用駐車場が大幅に増加し、敷地外の外来者用駐車場も病院から近い距離にまとめることができました。このことにより、新立体駐車場完成前の有料駐車場（病院敷地内もしくは病院敷地外でも近い）と無料駐車場（病院敷地外で遠い）の区別をする必要性がほぼ無くなったため、駐車場の再編を実施するものです。

駐車場を利用される全ての方に利用料をご負担いただくこととなりますので、皆様のご理解ご協力をお願いします。

敷地内駐車場全体のご案内（図をご覧ください）



※南ロータリーは「バス・タクシー専用駐車場」です。

第1立体駐車場を利用される方は左側の料金所へ ①

第2立体駐車場（既存の立体駐車場）を利用される方は右側の料金所へ ②
それぞれ入っていただくことになります。

東ロータリー（思いやり駐車場（有料）及び一般専用乗降場）を利用される方は、さらに直進して左折してください。

フットケア(足のケア)について

～あなたの大切な足を守るために～

フットケア外来 看護師 山本洋一郎

糖尿病とは

糖尿病は、体内のインスリンが不足して高血糖が続く病態を指します。高血糖は、様々な合併症の原因となります。糖尿病の主な合併症は、神経障害・網膜症・腎症(微小血管の障害)と脳血管障害・心筋梗塞・末梢動脈疾患(大血管の障害)があります。

糖尿病と足の関係

糖尿病は、「足の病気とどのように関係するの?」と不思議に思うかもしれません。神経障害は、足の裏の痛みや熱さなどの感覚が鈍くなります。そのため、足の傷(靴擦れやタコ、やけどなど)は、気付かないうちに酷くなってしまいます。また自律神経の障害は、皮膚が乾燥しひび割れなどに繋がることがあります。末梢動脈疾患は、動脈硬化が進むことで足の血液の流れが悪くなります。そして酸素や栄養素は、足の先まで十分に行き渡らず、傷の治りに影響したり、傷口から細菌が入りやすくなります。また、血糖値は高値が続くと免疫機能の働きが低下して感染しやすくなります。

糖尿病の合併症は、「足の病気」に



大きく影響します。発見やケアは、遅れることで病状が急速に進行します。最悪の場合、足の切断に至る場合もあります。

フットケア(足のケア)とは

「フットケア」とは、糖尿病の合併症による足のトラブルを予防し、足の健康維持・改善のためのケアを指します。医療者が行うケアも含まれています。しかし、一番大事なこととは患者さん自身が足を守っていくという意識を持つことです。

自宅で出来るフットケア

1. 毎日足を見て・触ってみましょう

毎日足を見ていますか? 足の皮膚が乾燥してひび割れはありませんか? 傷になっていないか、皮膚や爪に水虫は無いか見てみましょう。毎日の観察は、足のトラブルを早期に発見することに繋がります。足の裏は見えにくいですね。鏡を使ったり、実際に手で触ってみるなど工夫をしましょう。



2. 足を清潔にしましょう

足の指は1本1本丁寧に、指の間もよく洗いましょう。石鹸の使い方は、良く泡立

てて優しく洗うことがポイントです。洗った後は、水分をしっかりと拭き取りましょう。

足のトラブルは、毎日の取り組みで防ぐことが出来ます。毎日続けることは、とても大変で根気がいりますが、自分の足で歩いていくために頑張りましょう。

当院は、毎週金曜日にフットケア外来を行っています。フットケア外来は、糖尿病で足のトラブルにお困りの患者さんに対して、日々のお手入れ方法を一緒に考え実施できるようにお手伝いをします。外来のご利用は、主治医へご相談ください。



フットケア外来の診察室

当院では2021年3月の新型コロナウイルスワクチン接種開始から薬剤師がワクチンの管理・調製を行ってきました。医師は問診、看護師は接種に専念する考えからこのような体制としています。

ワクチン管理

当院で管理しているのはファイザー製ワクチンです。一般的なワクチンに比べ極めて不安定なので、超低温冷凍庫（マイナス60〜マイナス90℃）で保管します（図1）。

薬剤師が常時勤務する場所に設置しており、毎日温度確認を行っています。非常用電源に接続されているため、万が一に停電となった場合にも対応が可能です。国から小牧市へ届いたワクチンの多くは、一旦当院に納品され、保健センターを経由し、各



図1 当院の超低温冷凍庫

医療施設へ配送されます。

調製

接種会場の調製スペースで、環境を清潔にした上で開始します。

調製の流れは次の通りです。

- ①超低温冷凍庫から冷蔵庫（2〜8℃）に移し解凍
- ②冷蔵庫から室温に戻す
- ③ワクチンの瓶を上下にゆっくりと転倒混和する
- ④生理食塩液を1.8ml注入しゆっくりと転倒混和する
- ⑤接種量の0.3mlを6人分吸引する（図2）

本ワクチンは、脂質の微小球で出来ているため非常に壊れやすく、ワクチンの瓶に衝撃を与えたり、激しく振ったりすると、微小球が破壊され効果が弱まります。

当院薬剤師は普段より抗がん剤の調製や



図2 ワクチン吸引の様子

注射剤の無菌調製で注射器の扱いには慣れており、ワクチン1瓶から6人分を吸引するのに約5分で完了できるため作り置きはせず、可能な限り接種直前に調製するようになっています。

通常、ワクチンの吸引は0.3ml以上を吸引し、余分な液は針先から捨てるので、1瓶から5〜6人分が吸引されますが、我々は陰圧操作と呼ばれる余分な液を捨てない手技で調製するため1瓶から6〜7人分を吸引することができます。

安全体制

調製時の希釈ミス、不適切な保管管理、異物混入の報道がされています。当院では、同じミスを起こさないよう薬剤師間で情報共有や報告の徹底を行い、調製は二人で異物の有無、希釈量と吸引量の確認を行っています。接種開始から約二万人分のワクチンを調製しましたが、調製ミスはこれまで一件も起こしていません。

当院ではこれからも引き続き皆様が安心して接種できる体制で行っていきます。

管財課

管財課は、病院総務課の業務の一部と新病院建設推進室の業務を引き継いで、平成31年4月に発足した課で、「契約係」と「施設係」の2係で事務を行っています。

【管財課の業務】

事務分掌による主な業務内容は、次のとおりです。

契約係

- (1) 医療用器械器具及び診療用材料の購入及び修繕に関すること。
- (2) 医薬品の購入に関すること。
- (3) 物品の購入、出納及び保管に関すること。
- (4) 不用品の処分に関すること。
- (5) その他契約に関すること。

契約係は、これらの業務に関連して「購入等物品機種選定委員会」「物品購入等業者指名審査会」「診療材料委員会」などを所管しており、医療用器械器具及び診療材料の適正な数量や安価での購入に努めています。

特に診療材料は、期限切れや開封後の汚染などによる損失が発生しないよう、診療材料や薬剤の破棄・破損に気をつけてもら

うよう呼びかけるとともに、年2回診療材料や消耗品の棚卸しを行い、多数の物品の適正管理を行っています。

施設係

- (1) 病院施設の維持及び管理に関すること。
- (2) 駐車場及び宿舎の維持及び管理に関すること。
- (3) 病院建設に関すること。
- (4) その他施設に関すること。

施設係は、その名のとおり、建物本体に限らず駐車場も含めて、施設の維持、管理、修繕などを主な業務としています。

なお、新病院建設事業の一環として進められてきた新立体駐車場（第1立体駐車場）も、主に施設係が担当してきたものです。令和3年9月に378台駐車可能な立体駐車場として利用が開始され、自動車で来院される方の利便性が大きく向上しました。

新立体駐車場の1階には約170台分の駐輪場が設けてありますので、こちらもご利用ください。

このほかに施設係では、設備運転・整備・清掃の業務を担当しています。

これらの業務員は、平常時は電気設備や水道設備などの運転操作や機器のトラブルの対応、交通整理・建物内外の清掃なども担当し、患者さんや職員が快適に過ごすことができるよう環境の整備を行っています。

そして、病院における火災や盗難などの予防、不審者が侵入した際の排除、災害時における防災対策を行うことで、安全確保のために必要な措置をとるなど、病院全体を守る仕事も行っていきます。



当院では、意見箱を設置し、来院者の方からのご意見、ご要望に対してできる限りお応えできるよう努めています。そこで、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介させていただきます。

《いただいたご意見》

トイレのハンドソープ、手で触れないと出せない。不潔な感じがする。非接触型にできないか。



《ご意見に対するお答え》

管財課

この度は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

当院のトイレではプッシュ式のハンドソープを用意しております。手で触れる箇所が不潔と感じるかもしれませんが、ハンドソープで手洗いをしていただくことで、清潔を保つことができると考えております。また、院内に手指消毒液を設置しておりますので、ご利用ください。今後も手洗いや手指消毒を実施していただき、感染防止にご協力をお願いします。

小牧市民病院の基本方針



- ◎ **医療の質の向上**
職員は自らの専門性を高めるとともに、職種間のコミュニケーションを良好にし、患者さんを中心としたチーム医療を推進することで、安全で質の高い医療を追求します。
- ◎ **患者本位の医療の実践**
「恕」の心で患者さんの視点に立った思いやりのある医療を行います。
- ◎ **医療人の育成**
将来にわたり地域医療に貢献できる優れた医療人を育成するとともに、働きやすい職場環境づくりに努めます。
- ◎ **地域社会への貢献**
地域完結型医療の充実に向けて、地域の医療機関との役割分担・連携をさらに密にしつつ、地域の医療水準の向上につなげるにより、地域社会のニーズに応えられる医療体制を確立します。
- ◎ **経営の健全化**
医療情勢の変化に対応するとともに、自院の強みである高次医療を積極的に展開することにより、安定した経営基盤の確立を目指します。

臨床研修理念

・「恕の心」を持って、謙虚、感謝の念を忘れずに、プライマリ・ケアの診療が出来る医療人を育成します。

臨床研修の基本方針

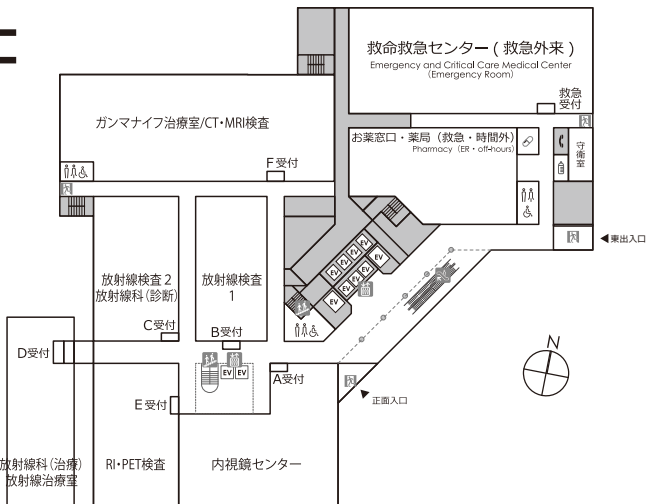
- (1)医療の本質の「仁」と「尽」を理解し、人格のかん養に努め、患者・家族中心の医療を実践します。
- (2)チーム医療の重要性を理解し、他者からの意見を真摯に受け入れた医療を実践します。
- (3)常に最先端の医学的知識の習得を心掛け、最善の医療の提供に努めます。
- (4)地域医療に参画し、全人的医療を実践します。

市民病院案内図



外来案内

1F



〈診療受付時間〉

午前8時30分～午前11時30分

〈診療時間〉

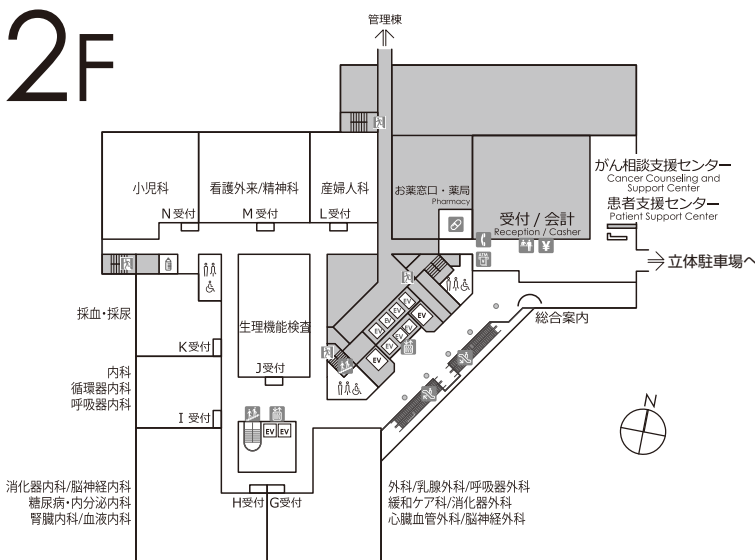
午前9時～午後5時

〈休診日〉

土曜・日曜・祝日・年末年始

※急患の方は、救命救急センターで随時診療

2F



3F

